

## 行事報告書(研修)

報告者： 仲谷貞夫

行事名	自然観察会(地質観察)	
実施日時	2022年 6月 23日(木曜日) 10:00 時～14:00 時 天候： 晴れ	
行先・場所	阪急仁川駅前「さらら仁川」ホール(集合・軸屋さん講義)→仁川左岸を上流へ→仁川緑地→五ヶ池ピクニックロード→仁川広河原(昼食・藤本さんミニ講座)→自然の家前の登山口周辺→甲山森林公園展望台(まとめの会・解散)	
テーマ	甲山周辺の岩石・地層・地形の観察の観察を行い、甲山の成り立ちについて学ぶ	
講師	軸屋宏子さん(シ11期)	
参加人員	30名	
研修内容 (項目と概要)	<p>雨が止み蒸し暑さを感じる中、「梅雨の晴れ間」の自然観察会(地層観察)となりました。</p> <p><b>&lt;さらら仁川での講義(約45分)&gt;</b></p> <p>講師の軸屋さんから岩石の見本を回覧されながら、パワーポイントで巡検ルート、岩石の種類、甲山周辺の地質、地層、甲山の成り立ちなどを解説されました。そして本日現場現物を観察しながら特に学んでほしい事象として以下を強調されました。</p> <p>◇花崗岩・安山岩・チャートの観察と見分け方、◇各層群の生い立ち◇大阪層群の砂礫層・粘土層(Ma1)の観察、◇逆断層である甲陽断層・有馬高槻構造線の確認、◇甲山周辺の大阪層群の位置確認、◇大阪層群と花崗岩による不整合を理解・観察</p> <p><b>&lt;上記のポイントとなる事象を念頭に置いた観察結果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁川高台から～関学と浄水場の間にある甲陽断層の位置を確認</li> <li>・五ヶ池近くのピクニックロード脇で～大阪層群の白い粘土層(Ma1)を明確に確認出来ました <span style="float: right;">大阪層群粘土層(Ma1)</span></li> <li>・自然の家の前～兵庫県の地質・地形の成り立ちや甲山の成り立ちと西宮の地層・断層について去年まではなかった立派なパネルが設置され、安山岩・玄武岩・凝灰岩・六甲花崗岩・閃緑岩など兵庫の山を代表する岩石の展示がされていました。</li> <li>また、花崗岩が安山岩を抱き込んだような接触岩も展示されていました。</li> <li>・自然の家から甲山への登山道～周辺の石を見つけ各自が持参したハンマーで割ると、安山岩特有の黒っぽい部分が明瞭に確認出来ました。 <span style="float: right;">また、別場所には花崗岩の上に大阪層群の砂礫層が堆積した「不整合」も確認出来ました</span></li> <li>・展望台～甲陽断層の位置、有馬高槻構造線のスケールの大きさを確認しました</li> </ul> <p><b>&lt;ミニ講話も実施&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久しぶりにミニ講話があり、藤本さんが今後の戦況が非常に心配なウクライナの民話「てぶくろ」の朗読がありました。何匹動物が手袋に入った？のクイズで盛り上がりました</li> </ul>	
感想	<p>軸屋さんは岩石、地質等の事をととても熱心に語られ、判り易かったです。丹波層群や甲山で見つかるチャートは遠くの深海で堆積し、プレート移動で運ばれ「付加体」として見つかるのだと知り、スケールの大きい地球変遷の一端を実感出来ました</p>	

